

日本医療企画—ひたすら「挑戦と創造」の道を歩んで

株式会社日本医療企画の林諄社長は昨年、わが国で初めてとなる医療・介護分野での経営情報を発信する出版事業を通じ、長年医療・介護分野の人材育成に努めた功績が称えられ、東久邇宮国際文化賞を受賞しました。1980年の会社設立以来、「挑戦」と「創造」の精神で国民の健康づくりのために歩んできた林社長が、将来にかけた熱意を語ります。(聞き手はフリーアナウンサーの戸丸彰子さん)



株式会社日本医療企画 代表取締役 林 諄氏

医療経営の先駆者として 常に「新しい価値」を創造 「経営改革」と「経営人材の育成」こそわが使命

褒賞受賞を重く受けとめ 一層地域の安全・安心づくりに努力

林社長は昨年12月に高松宮賞、秩父宮賞とともに三大宮賞として知られる東久邇宮国際文化賞を受賞されたそうです。受賞理由についてどうお考えですか。

生来、何をやっても失敗ばかりの劣等生です。内定通知をいただいた時は何かの間違ひではないかと本当に驚きました。あえてその理由を考えると、35年前に「ばんぼう」(現「クリニックばんぼう」)を創刊し、医療界に欠けていたマネジメントの概念を持ち込んだこと。その後、病院経営誌や介護経営誌、栄養経営誌などの出版活動を通じてその重要性を訴え、最近では医療や介護、栄養分野の経営人材の育成にも取り組んでいることが評価されたのではないかと考えます。受賞理由の中には、新聞記者時代の実績も評価の対象になっているようですが……



授けられた東久邇宮国際文化賞

「戦わずして負けた第三の敗戦」と表現しています。第一の敗戦は1864年の馬関戦争、第二の敗戦は太平洋戦争です。失われた20年と言われるように長い低迷が続き、少子高齢社会の中で国家財政をはじめ、各分野で深刻な状況が発生している現在の状況を「敗戦」と評しているわけですね。医療・介護分野も社会保障費の問題や人材不足などの難問が続出し、まさに「敗戦」と言える状況です。

ただ、悲観的になる必要はありません。第一の敗戦後には坂本龍馬をはじめ幕末の志士たちによる明治維新が生まれ、第二

の敗戦後は第43代内閣総理大臣に就かれた東久邇宮裕彦殿下の見事な戦後処理により、その後の平和と繁栄がもたらされました。つまり、優れたリーダーが現れ戦後処理をうまく行えば、必ず今までのようなものが生まれるのです。東久邇宮国際文化賞を受けた身として、医療と介護の再構築に取り組み、安全で安心して暮らせる地域づくりに全力を傾ける、これが私のこれからの使命だと考えています。

医療分野の調査研究、問題提起などを行うシンクタンクの設立にも尽力されたそうですね。

医療分野でシンクタンクをつくったのは私が最初ではないかと思えます。1987年に「民間病院問題研究所」を設立し、日本の病院の約8割を占める民間病院の経営強化や政策提言に

努めてきました。また、官民合同のシンクタンク財団法人医療経済研究機構(現・一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構)の創設にも理事として参画し、政策づくりにもかかわってきました。

厚生労働省との関係も深いようですね。厚生労働省の広報誌も貴社で制作されていると聞いています。中央官庁の広報誌を民間の出版社が制作するのは異例のケースですね。

そうですね。私は新聞記者時代に厚生省(現・厚労省)を担当していたので、厚労省との付き合いも随分長くなりました。今まではヘルスケア分野で大きな仕事ができなかったのは、厚労省をはじめ、日本医師会や病院団体のご指導、ご支援があったからだだと深く感謝しています。

出版社では異例と言える全国6支社体制を築き、金沢市内にも北信越支社があります。北信越ではどのような事業を展開されてきたのですか。

最初はかなり苦労しました。病院の事務長に集まっていた「医療経営管理」者養成講座や病院の広報誌の作成、企画提案などさまざまな事業を行いました。昨年には第四回目の医療経営士の全国大会も金沢で開催し約1000人が参加し、成功を取りました。このおかげで医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士の合格者も急速に増えています。

出版社として培われた経験をもとに、病院の経営改革にも取り組んでおられるそうですね。

約10年前、生まれ故郷に近い七尾市の公立総合病院が経営危機に陥った際は、当社のネットワークを生かし、有識者やコンサルタントを巻き込み経営改革に参画させていただきました。最近石川県河北郡にある津幡町国民健康保険直営河北中央病院で糖尿病疾病管理のためのデータベース作成と運営に関するコンサルティングや、富山県の中核病院の経営改善のお手伝いもさせていただいています。

最後に、今後の展開を聞かせてください。

安倍内閣になってから、地域の再生・創生が大きなテーマになっています。これは医療・介護にとって密接不可分の問題です。地域が衰退すれば、医療・介護は成り立ちませんので、新しい地域づくりに参画し、医療・介護の再構築に取り組んでいきたいと思っています。

「失敗を重ねて35年」というテーマで、新しいものを創ってきたこと、にあるという結論に達し、これは病院や介護事業所にも役立つ本になるのではないかと考え発刊しました。

創業35年の間には数々の苦勞があったと思いますが、一番苦勞されたこと、印象に残ったことは何でしょうか。

出版社では異例と言える全国6支社体制を築き、金沢市内にも北信越支社があります。北信越ではどのような事業を展開されてきたのですか。

最初はかなり苦労しました。病院の事務長に集まっていた「医療経営管理」者養成講座や病院の広報誌の作成、企画提案などさまざまな事業を行いました。昨年には第四回目の医療経営士の全国大会も金沢で開催し約1000人が参加し、成功を取りました。このおかげで医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士の合格者も急速に増えています。

出版社として培われた経験をもとに、病院の経営改革にも取り組んでおられるそうですね。

約10年前、生まれ故郷に近い七尾市の公立総合病院が経営危機に陥った際は、当社のネットワークを生かし、有識者やコンサルタントを巻き込み経営改革に参画させていただきました。最近石川県河北郡にある津幡町国民健康保険直営河北中央病院で糖尿病疾病管理のためのデータベース作成と運営に関するコンサルティングや、富山県の中核病院の経営改善のお手伝いもさせていただいています。

最後に、今後の展開を聞かせてください。

安倍内閣になってから、地域の再生・創生が大きなテーマになっています。これは医療・介護にとって密接不可分の問題です。地域が衰退すれば、医療・介護は成り立ちませんので、新しい地域づくりに参画し、医療・介護の再構築に取り組んでいきたいと思っています。

「失敗を重ねて35年」というテーマで、新しいものを創ってきたこと、にあるという結論に達し、これは病院や介護事業所にも役立つ本になるのではないかと考え発刊しました。

創業35年の間には数々の苦勞があったと思いますが、一番苦勞されたこと、印象に残ったことは何でしょうか。

出版社では異例と言える全国6支社体制を築き、金沢市内にも北信越支社があります。北信越ではどのような事業を展開されてきたのですか。

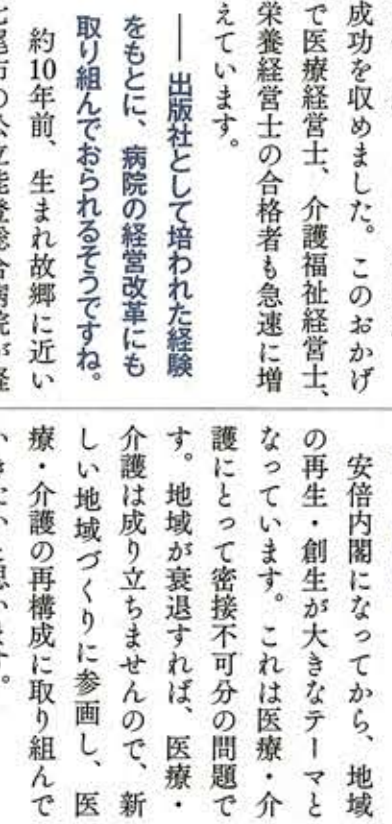
最初はかなり苦労しました。病院の事務長に集まっていた「医療経営管理」者養成講座や病院の広報誌の作成、企画提案などさまざまな事業を行いました。昨年には第四回目の医療経営士の全国大会も金沢で開催し約1000人が参加し、成功を取りました。このおかげで医療経営士、介護福祉経営士、栄養経営士の合格者も急速に増えています。

出版社として培われた経験をもとに、病院の経営改革にも取り組んでおられるそうですね。

約10年前、生まれ故郷に近い七尾市の公立総合病院が経営危機に陥った際は、当社のネットワークを生かし、有識者やコンサルタントを巻き込み経営改革に参画させていただきました。最近石川県河北郡にある津幡町国民健康保険直営河北中央病院で糖尿病疾病管理のためのデータベース作成と運営に関するコンサルティングや、富山県の中核病院の経営改善のお手伝いもさせていただいています。

最後に、今後の展開を聞かせてください。

安倍内閣になってから、地域の再生・創生が大きなテーマになっています。これは医療・介護にとって密接不可分の問題です。地域が衰退すれば、医療・介護は成り立ちませんので、新しい地域づくりに参画し、医療・介護の再構築に取り組んでいきたいと思っています。



日本医療企画の定期刊行物

北信越の医療・介護の未来が見えるフォーラム開催 「機能分化」から「統合」へ～2年後の同時改定を見据えて～

多数のご参加をお待ちしています

■日時/平成28年5月28日(土) 13:00~17:00 (開場12:30) ■会場/イオンシネマ金沢 金沢市福久2-58 イオン金沢店3F

<p>基調講演</p> <p>「求められる医療・介護の将来像」 ～地域包括ケアシステムを構築していくために～</p> <p>講師…松山 幸弘氏(キヤングローバル戦略研究所研究主幹)</p> <p>■参加対象 医療・介護従事者/医療・介護関連企業/自治体職員 ■参加費/10,000円=一般、8,000円=後援団体会員/「Phase3」 【介護ビジョン】定期購読者※1法人から複数参加の場合、2人目以降1,000円引き ■定員/200人 ※定員になり次第、締め切らせていただきます</p>	<p>シンポジウム</p> <p>「医療・介護の「統合」とは?」～北陸モデルの構築へ～</p> <p>医療の立場から… 神野 正博氏(社会医療法人財団聖仙会理事長) 仲井 培雄氏(医療法人社団和楽仁理事長) 池端 幸彦氏(医療法人池慶会池端病院理事長 院長)</p> <p>在宅の立場から… 紅谷 浩之氏(オレンジホームケアクリニック代表)</p> <p>介護の立場から… 三浦 祐一氏(社会福祉法人天佑理事長)</p>	<p>■主催/㈱日本医療企画 【Phase3】編集部・「介護ビジョン」編集部</p> <p>後援</p> <ul style="list-style-type: none"> (公社)日本医師会 (一社)日本病院会 (公社)全日本病院協会 (一社)日本医療法人協会 (公社)日本精神科病院協会 (一社)日本慢性期医療協会 (一社)日本医療経営実践協会 (一社)日本介護福祉経営人材教育協会
--	---	--

北信越支社事業案内
貴院のお悩みを解決します

経営指導業務 [収益改善、集患、地域連携、職員教育など]
公立・民間病院で収益を大幅に改善した実績があります。

広報ツールの制作 [パンフレット、広報誌、ホームページなど]
貴院の特長を最大限に活かした制作には定評があります。

イベントプロモーション [周年記念、新規開業、増改築工事など]
地域住民に選ばれた手法として最適です。

株式会社 日本医療企画

本社 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル
TEL.03-3256-2862 FAX.03-3256-2865

北信越支社 〒920-0024 石川県金沢市西念4-18-40 N-Yビル305
TEL.076-231-7791 FAX.076-231-7795